



学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある  
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための  
「連携・協働」の推進



## 決意新たに 充実した3学期にしよう

あらためて、新年明けましておめでとうございます。  
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みが終わり、1月13日（火）から3学期が始まりました。登校日は、1・2年生は49日間、3年生は40日間です。3学期は1・2学期より短いですが、進学・進級に向けて、皆さんが大きく成長していくための大切な時期になります。これまでの自分を振り返りながら、3学期にどんな姿を目指したいのか、ぜひ具体的な目標を立ててみてください。自分の役割に責任を持ち、最後までやり遂げる力は、これからの人生でもきっと皆さんの支えになっていきます。令和8（2026）年、皆さんが様々な場面で活躍する姿を楽しみにしています。先生たちも、皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

1・2年生の皆さんにとって、3学期は1年間のまとめの学期です。新しい生徒会を中心に、3年生に贈る会の準備も始まります。こうした活動を通して、「これからは自分たちが道志中を創っていく」という気持ちを、少しずつ育てていってほしいと思います。

3年生の皆さんにとって、中学校生活の締めくくりの時期になります。進路決定（高校入試）という大きな挑戦もあります。そして、3年間の学びの集大成として、卒業証書授与式が待っています。落ち着いた気持ちで日々を過ごし、胸を張って卒業の日を迎えてほしいと願っています。

どの学年にとっても、3学期は次のステージへ進むための大切な準備期間です。風邪や感染症が流行しやすい時期でもありますので、引き続き体調に気をつけて過ごしてください。

## 夢（志）を叶えるために

小学生の頃、「将来、何になりたい？」と聞かれて「プロ野球選手」「フィギュアスケート選手」と答えることも自然だったと思います。私の娘も、かつて「（浅田）真央ちゃんみたいになりたい」と言ってい

ました。とても微笑ましい思い出です。

でも、中学生になると、同じ質問にすぐ答えられなくなる場合があります。努力や才能が必要な世界の厳しさを知り始めたり、「真面目に夢を語るのが照れくさい」と感じたりするからかもしれません。本当は心のどこかに夢があっても、自信が持てなくなることもあります。「今はない」「別に」と答えたいくなる気持ちも、よく分かります。

かつて、私は教え子の同窓会に招かれたことがありました。十数年ぶりに再会した若者たちは、それぞれの道を確かに歩んでいました。「今、〇〇を頑張っています」「これから◇◇になります」

と、目を輝かせながら話してくれました。中学を卒業してからの年月の中で、多くを学び、

成長してきた姿に胸が温くなりました。喜びも悩みも経験しながら、新たな責任を担い、人生のステージを進んでいく若者たちに、「自分の選んだ道を信じて、これからも歩いてほしい」と心からエールを送りました。

皆さんも、これから先の人生で、たくさんの選択をしていくことになります。うまくいくこともあれば、思い通りにいかないこともあるでしょう。でも、どんな道を選んだとしても、胸を張って歩いていける自分でいてほしいと思います。

“夢は見るものではなく、叶えるものだ”と言われます。その夢（志）に向かって一步を踏み出す準備をするのが、まさに「いま、この時」です。進学・進級を控えたまだからこそ、自分の未来を思い描きながら、「いま、この時」を大切に、日々の努力を積み重ねていきましょう。

皆さんが通うこの学校は、“道志（道を志す）”中学校です。一人ひとりが自分の道を志しながら、これからの人生を力強く歩いていけることを、心から願っています。

